

2月の園便り

27年 新潟青陵幼稚園 加藤 由美子
だいぶ前のことになりますが・・・

「ねえ、ふねにのる？」と聞かれて「乗りたい〜い」と青ばらさんについていくと。「ここで座って待っててください」と言われ、廊下に並べられた椅子に座りました。そこには、すでに赤ばらさんと保育者が座って待っていました。でも、随分長く待っても順番が来ないので、隣で待っていた保育者が「待ち時間が長いんですよ、10分くらいたないと入れないです。」一度入ると長く時間がかかるとは、どんな船なのかと興味津々で待っていました。しばらくすると、ようやくドアが開いて、係りの人が「はい、次は園長先生どうぞ」と呼んでくれました。さて、中に入ると、「はい、ここに座ってください」と指示された船の座席・・・一等船室のように、背もたれもついている座席でした。座席に座ると、目の前に舞台があって、女の子が2人で人形劇をしていました。座席の一番前には、青ばらさんの男の子のお客さんが座って熱心に見ていました。なるほど、人形劇があるから、時間がかかったのですね。人形劇の舞台は、木枠に囲まれていて、上から布がかけられて、まるでドレープカーテンみたいになっていました。そのカーテンを押さえる役割をしている2人の女の子、根気強くカーテンを持ち上げていました。自分の役割をしっかりとこなしている女の子たちです。舞台の木枠がゆらゆらしているのでカーテンを押さえているのと同時に舞台をも支えてくれていたのです。皆で遊ぶときに、それぞれが自分の役割をこなす必要が出てきますが、年長さんになってくると、こうして自分の役割をきっちりとこなすことができるようになってきます。たとえば、この役割より、ほかの役割がいいと思ったとしても、自分の気持ちを押さえて“やりきる”ということをしていく姿も見られます。こんな時、子どもたちは、とても大きなエネルギーを使って、自分を我慢させていきます。こうして経験していくことによって、自分がやりたい役ができない子どもの気持ちもよく分かるので、代わってあげたりするということが見られるようになります。遊びを通して学び合う子どもたち…人格の基礎と言われる学びが日々繰り返されているこどもたちです。3学期は子どもたちの活動がもっとも充実してきますから、日々繰り返される遊びの面白さは大人の想像を超えた素晴らしいものです。

友だち関係も安定して、皆で一つのことをやり遂げるために協力・協同という姿も見られる時期です。「のばら劇場」で劇を作っていく過程を通して、集団の一員として役割を果たし、劇の登場人物の気持ちを感じて、みんなで一緒に創る経験をしていきます。クラスのみんなが一緒に、一つのことに取り組む経験をして、友だちと一緒にすると楽しいという基本的な人間関係の喜びを知っていくことができます。

喜びも厳しさも辛さも含めて、幼稚園では毎日毎日学びを積み重ねている子どもたちです。是非、ご家庭では気持ちをリラックスさせて温かく包んであげてくださいませ。



2月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	日	/	/		
2	月	○	2:00		
3	火	○	2:00	節分の豆まきを行います。	
4	水	○	2:00		
5	木	○	2:00		
6	金	○	2:00		
7	土	×	11:30	自由登園日	
8	日	/	/		
9	月	○	2:00		
10	火	○	2:00		
11	水	/	/	建国記念日	
12	木	○	2:00		
13	金	○	2:00		
14	土	/	/	第2土曜日	
15	日	/	/		
16	月	○	2:00		
17	火	○	2:00		
18	水	○	2:00		
19	木	○	2:00		
20	金	○	2:00		
21	土	×		のばら劇場です、皆様お揃いでおいでください。もも組さんはお休みです	
22	日	/	/		
23	月	○	2:00		
24	火	○	2:00		
25	水	×	11:30	誕生会です、2月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。	
26	木	○	2:00		
27	金	○	2:00		
28	土	/	/	第4土曜日	